

2023-24年度R1テーマ
Create Hope in the World
世界に希望を生み出そう

R1会長
ゴードンR.マッキナリー



TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会 長	宮本 和彦	会 計	土伏 英晴	管理運営	吉本きよ子
会長エレクト	宇都宮勝博	S A A	三好 静子	会員組織	堀越 賢二
幹 事	宇都宮勝博	副S A A	木村 安伸	奉 仕	久藤 孝仁
副 幹 事	福本 博之	直前会長	板場 英行		

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp
http://www.takehara-rc.com
例会日／毎週木曜日12:30~13:30
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 11月9日

誕生祝・各会員各記念日祝
誕生月該当者会員卓話

次週のプログラム 11月12日

地 区 大 会
広島県立総合体育館・リーガロイヤルホテル広島

【2023年10月19日 第2786回例会記録】

【2023年10月26日 第2787回例会記録】

各会員各記念日(11月)

- 会員誕生日 宇都宮勝博
- 結婚記念日 宮本 和彦
- 土伏 英晴
- 配偶者誕生日 堀越 賢二

.....
10月19日 第2786回

- 点 鐘
- ロータリーソング：それでこそロータリー
- 4つのテスト：福本博之会員
- ゲスト：広島県竹原市教育委員会
教育長 高田英弘様
- 会員数：12名
- 出席者：9名
- 欠席者：2名
- メイク：1名 出席率：83.33%

幹 事 報 告

【幹事 宇都宮勝博】

- ・竹原市暴力団追放市民総決起集会について
- ・令和5年度共同募金寄付金付商品（カープ公式カレンダー2024）⇒購入希望の方は事務局まで
- ・竹文化振興協会広島県支部創立10周年記念式典開催について
- ・本日例会終了後、臨時理事役員会開催します
- ・10/26は月見例会、11/2は休会
- ・11/16は11/12へ例会変更（16日休会）

会 長 の 時 間

【会長 宮本 和彦】

株式や債券（国債）の歴史は何年くらいだと思いますか。3, 4百年です。東インド会社というのを聞いたことがあると思います。17世紀初頭、ヨーロッパからアジアに香辛料等を買いに来ました。あの時代は嵐が来ると船がすぐ難破してしまっただので、無事に持ち帰れたら滅茶苦茶儲かって何倍もの利益になりました。そうでなかったらゼロ。そのハイリスクハイリターンの航海にお金をつけるために初めて今のような売買可能な株式が出来たのです。

債券も同じ17世紀後半に始まったと言われていいます。以前から国王が戦争をするときに債券を発行して軍資金を集めていたのですが、敗戦で国王が死んでしまうと返さなかったようです。

イギリスが国王が死んだからといって払わないのはさすがにまずいのではないのかと言ひ、債務を引き継いでいくことを宣言したことから、初めてのいまの国債の原型が出来たようです。

委 員 会 報 告

□親睦活動委員会 委員長 吉本きよ子
10月26日(木)は瀬戸内ゴルフリゾートで月見例会を開催します。オープン例会でソロプチミスト竹原の会員様も出席されますのでよろしくお願ひ致します。

『子供たちの時代を考える これからの社会の変化を見据えた新たな学び』
～竹原の教育が照らすもの～



広島県竹原市教育委員会 教育長 高田英弘様
「子供の学びが進化します！」皆さん、このキャッチフレーズをご覧になったことがありますか。

これは、現在の学習指導要領を保護者の方に伝えるために、文部科学省が作成した資料の冒頭にあるキーワードです。つまり、これからの次代を担う子供たちの学びの方向性を示したキーワードと言えます。

子供たちが社会に出て実際に活躍する2030年、世界はどのような時代になっているのでしょうか。

スマートフォンはもとより、人工知能であるAIや、多種多様なデータ、いわゆる「ビッグデータ」を効果的に活用する時代が到来します。まさに情報化やグローバル化といった社会的な変化が、人間の予測を超えて進展していくのです。学校教育では、子供たち一人一人に「予測困難な社会の中でも、未来をつくり出していくために必要な資質・能力を確実に育む教育」を確実に行わなければなりません。

冒頭お示ししました「子供たちの学びが進化」するのは、このように「これからの社会の変化を見据えた新たな学び」が重要となるからです。その学びや身に付けるべき資質・能力、さらにはその方向性について明記してあるのが、左図に示した「学習指導要領」です。

小学校は令和2年度、そして中学校では令和3年度から全面実施となり、全ての学校で、この内容や趣旨等を踏まえた教育活動が行われています。この中身について少し説明します。まずこの図をご覧ください。これは新学習指導要領の概要を示したイメージ図です。この中心にある「社会に開かれた教育課程」の実現が、目指すべき柱となります。

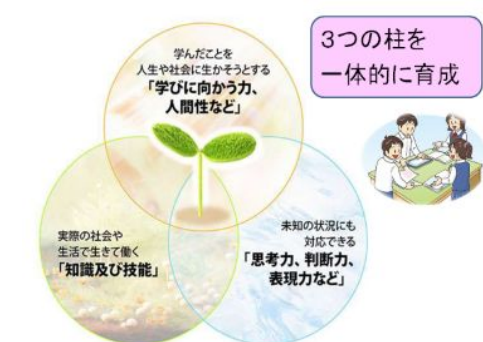


そして、「何ができるようになるか」、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」の3つをつなぎ合わせながら、実現を目指しています。

この中心にある「社会に開かれた教育課程」については図のとおりです。キーワードはカリキュラム・マネジメントです。

ここにあるように「カリキュラム・マネジメント」の視点を意識しながら、実際に「子供たちに何ができるようになるか」を見ていきます。

3つの柱があります。これは言い換えれば、「子供たちにつけたい資質・能力」と言えます。3つの柱は、「実際の社会や生活の中で生きて



働く『知識及び技能』」、「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力、表現力』」、そして「学んだことを実際に生かそうとする『学びに向かう力、人間性』」です。

これらは、私たち大人にとってもたいへん必要な力です。例えば、知識だけもっていても、それを実際の場で活用することができないと意味がありません。また、実際に自分のアイデアでさらに広くやってみようと思っても、その基盤となる知識や技能がなければ深まりません。

何より、学習に対する意欲や湧き上がるパワーも必要となってきます。子供たちには、これら3つの柱（資質・能力）を

一体的に育成していく必要があるのです。そして、それらの資質・能力を養うため、子供たちはどのように学ばばよいのでしょうか。これは「どのように学ぶか」すなわち「学び方」といえます。ここでのキーワードは「主体的・対話的で深い学び」です。

まず「主体的な学び」です。この学びは子供たちがいかに前のめりになるかということです。教科書の内容をただ一方的に伝えられるだけの授業ではこのような姿は見られません。

次に「対話的な学び」です。自分一人でひたすらに学習するだけでは、学びは深まりません。子供同士や先生、地域の方々など、自分とは異なる他者と学習することで、自分一人で気付かなかった新たな

な知識を得ることができます。
最後に「深い学び」です。先ほどの「主体的・対話的な学び」が保障されて初めてこの「深い学び」に到達します。

つまり学んだことや身に付けた力を関連付け、さらに深く考えようとする姿が見られるのです。現在、竹原市立学校では、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指し、子供たち一人一人が「分かった」「おもしろい」「もっとやりたい」と思える授業づくりに向け、日々改善を行っています。

まさしく、周りの人たちと関わり合いながらともに考え、新たな発見や発想が生まれる授業を目指しています。

次に、この「21世紀のグローバル社会に必要な能力」は鈴木寛氏（第2次安倍内閣の時の元文部科学大臣補佐官、東大教授）の講演の資料を基に当時の『VIEW21大学版2012特別号』編集部（ベネッセ）が作成したものです。こういった内容を、



（『VIEW21大学版2012特別号』ベネッセ 巻頭）15

子供たちに言葉で理解させようとするのでなく、体験の中で子供たちが経験して身に付けていくことが大切だと思って取り組んでいます。

これまで、「1 DAY国内留学」として、小学生が留学生と互いの国を紹介したりゲームをしたりしながら触れあったり、中学生が留学生を町並み保存地区などの案内をしたりして英語を使用しながら異文化や自文化に気付いていく取組をしてきました。また、ミスインターナショナル東京大会で来日した国の代表を学校に招いて、互いの文化を紹介するなどの経験もしてきました。

また、竹原市の次代を担う青少年が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成するために米国ハワイ州のホノウリウミドルスクールと姉妹校締結を行い交流を進めています。

令和3年1月に「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」

と題した中央教育審議会答申がとりまとめられました。一昨年度よりスタートしたギガ（Global and Innovation Gateway for All）スクール構想（子供たちが一人一台の端末）の実現もあり、教育のさらなる推進を図るために示されたものです。

「個別最適な学び」とは、個々の児童生徒の特性や学習進度等を丁寧に見取り、その状況に応じた指導方法等の工夫を行うことです。

「協働的な学び」とは、異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出していくことです。竹原市においては、一人一人の個に応じた学びである「個別最適な学び」、様々な考えをすり合わせ、よりよいものを生み出す学び「協働的な学び」の、この2つの学びを一体的に行うことが、現在目指している「主体的・対話的で深い学び」を支え、そして養いたい「資質・能力」の育成につながると考えます。

先程、「子供たちが社会に出て実際に働く2030年、世界はどのような時代になっているのでしょうか」と話しました。小学校が2020年に全面实施となった現行の学習指導要領は、2030年の社会を前提として子供たちが身に付けるべき資質・能力を示しています。

学習指導要領はおおよそ10年で改訂されてきました。次の学習指導要領に向けての議論は既に始まっています。この議論に大きな影響を与えることになる次期教育基本計画が今年の6月に閣議決定をされています。この次期計画のコンセプトは2つあり、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な創り手の育成」と「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」です。

国は2040年以降の社会を見据えて教育を考えていくべきことを示しています。多くの未来予測からも明らかなように、その時代は、グローバル化の一層の進展や人工知能の革新的進化などにより想像以上に大きな変化が起こっているものと思われます。大人である私たちは、とかく今の目の前を見て物事を考えがちですが、子供たちが、主人公として生きていく時代をしっかりと想像しながら、発想を豊かにして取り組んでいかななくてはならないと思っています。

10月26日 第2787回

月見例会（オープン例会）

会場：瀬戸内ゴルフリゾート

□点鐘

□ロータリーソング：奉仕の理想

□ゲスト：国際ソロプチミスト竹原 会員様6名

□会員数：12名

□出席者：9名

□欠席者：3名

□メイク：1名 □出席率：83.33%

会員9名、配偶者2名、ゲスト6名、事務局

計18名

